FUJIIRYōKI

家庭用

Relax Solution

マッサージチェア

医療機器認証番号：222AGBZX00064000
類別：機械器具　77　バイブレーター
管理医療機器　一般的名称：家庭用電気マッサージ器

品番：OH-660（DX）

添付文書 **取扱説明書**

使用目的・効能または、効果

（あんま、マッサージの代用
一般家庭で使用すること）

- このたびは当社のマッサージチェアをお買い上げいただき誠にありがとうございました。
- ご使用の前に、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- **ご使用の前に、「安全上のご注意」（2～5ページ）を必ずお読みください。**
- お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。
- 保証書は、「お買い上げ日・ご購入先」などの記入を必ず確かめ、
  取扱説明書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」・「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告	取り扱いを誤った場合、**使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度。**
⚠ 注意	取り扱いを誤った場合、**使用者が傷害を負うことが想定されるか、または*物的損害の発生が想定される危害・損害の程度。**

＊物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

<絵表示の例>

	△記号は、**警告・注意**を促す内容があることを告げるものです。 （左図の場合は一般的な警告・注意）
	⃠記号は、**禁止**の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を**強制**したり**指示**したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

お願い

- 機器本体及び付属品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせ下さい。

⚠警告

	次の人は、使用しないでください。身体に異常が起こる場合があります。 ●医師からマッサージを禁じられている人 （例：血栓［そく(塞)栓］症、重度の動脈りゅう(瘤)、急性静脈りゅう(瘤)、各種皮膚炎および皮膚感染病（皮下組織の炎症を含む）など）
	次の人は、使用前に医師に相談してください。 ●ペースメーカーなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器を使用している人 ●悪性しゅよう（腫瘍）のある人　●心臓に障害のある人 ●妊娠中の人または、出産直後の人 ●糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人 ●皮膚に創傷のある人　●安静を必要とする人 ●体温38℃以上（有熱期）の人 （例：急性炎症症状［けん（倦）怠感、悪寒、血圧変動など］の強い時期。衰弱している時。） ●骨粗しょう（鬆）症の人、せきつい（脊椎）の骨折、急性［とう（疼）痛性］疾患の人 ●背骨（脊椎）に異常のある人または、背骨が左右に曲がっている人 ●捻挫、肉離れなど炎症性の人 ●椎間板ヘルニア症の人 ●**その他、身体に特に異常を感じているときや、医療機関で治療中の人**
	動かなくなったり異常がある場合はすぐに電源プラグを抜いて、ご購入先に点検・修理を依頼する。感電や漏電・ショートなどによる火災のおそれがあります。
	脚部を下げるときは、脚部の下に足や手をはさまないようにする。また、脚部の下に人やペット、物がないことを確認する。 けがのおそれがあります。
	首周辺をマッサージするときは、もみ玉の動きに注意する。また、首の前方や過度に強いマッサージはしない。事故やけがのおそれがあります。
	リクライニングするときや脚部を上げ下げするときは、うしろや脚部の下などに人やペット、物がないことを確認する。 事故やけが、家財を傷めるおそれがあります。
	リクライニングするときは、背もたれ部と座部・肘掛部の間に手や腕・足・頭をはさまないようにする。けがのおそれがあります。
	ポイントナビで体形検出したときは、必ず肩位置が合っているか確認する。合っていないときは高さ調節ボタンで合わせてください。（自動コース、選択機能の「全体」のとき。）事故やけがのおそれがあります。
	ご使用前に背パットを上げて背もたれ部の布地が破れていないか確認し、その他の部分にも破れがないか確認する。（小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼して下さい。）布地が破れた状態で使用すると、感電やけがのおそれがあります。
	交流100V以外は使用しない。火災・感電の原因になります。
	電源コードや電源プラグが破損したり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。電源コードや電源プラグが破損した場合、ご購入先または「お客様相談窓口」に修理を依頼する。そのまま使い続けると感電やショート、火災の原因になります。
	電源コードを傷めない。 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしない。また、重いものを載せない。特に移動中ははさみ込んだりしない。 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
	子供だけで使わせたり、自分で意思表示できない人には使用させない。また、幼児を近づけない。感電やけがのおそれがあります。
	子供に椅子の上で遊ばせたり、上に乗らせない。 故障やけがのおそれがあります。

安全上のご注意

⚠警告

	浴室など湿気の多い場所で使ったり、保管しない。 感電・火災・故障・カビの原因になります。
	絶対に改造しない。また、ご自分で分解、修理をしない。 発火したり、異常動作して、けがをするおそれがあります。

⚠注意

	使用時間は1回15分以内に。また、同一箇所への連続しての使用は5分以内にする。 長時間のご使用は筋肉や神経を痛めることがあります。 <お願い> 1日の使用は30分以内にしてください。
	健康な方でも下記のような人は必ず医師と相談のうえ使用する。 (1)加齢により筋肉の衰えた人や痩身の人　(2)骨や内臓に起因する腰痛の人 (3)打ち身やねんざしやすい人　(4)乗物酔いの激しい人　(5)過去に心臓や内臓の手術をされた人 守らないと健康をそこなうおそれがあります。
	使用中に身体に異常があらわれたり感じたときには、直ちに使用を中止し、医師に相談する。
	本器の使用によって発疹、発赤、かゆみなどの症状があらわれた場合は、使用を中止し医師に相談する。守らないと事故や体調不良のおそれがあります。
	ご使用後は電源スイッチを切る。 子供のいたずらなどによる事故の原因になります。
	水平な場所で使用する。故障や事故の原因になります。
	停電のときは直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。 再通電されたとき事故の原因になります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く。 感電やショートして発火することがあります。
	使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。 ホコリや湿気で絶縁劣化になり、漏電火災の原因になります。
	お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。また、濡れた手で抜き差ししない。 感電やけがのおそれがあります。
	もも・尻をマッサージするときはズボンのポケットに硬いものを入れたままにして使用しない。事故やけがのおそれがあります。
	マッサージ動作中に電源プラグを抜いたり、電源スイッチを「切」にしない。 けがのおそれがあります。
	本器を使用しながら他の治療器を同時に使用しない。
	使用中は眠らない。無意識での使用は、体調不良やけがのおそれがあります。
	マッサージの目的以外には使用しない。故障や事故の原因になります。
	電源プラグは確実に最後まで差し込み、ピンやゴミを付着させない。 感電・ショート・発火の原因になります。

⚠注意

アースを確実に取り付ける。
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。また、アースの取り付けはご購入先にご相談ください。

ストーブなど火気の近くで使用したり、たばこを吸いながら使用しない。
また、ホットカーペット等の暖房器具の上で使わない。
火災の原因になります。

生地を無理に引張ったり、刃物やとがった物で突き刺したりしない。
故障やけがのおそれがあります。

ベンジン・シンナー・アルコールなどでふいたり、殺虫剤をかけない。
感電・引火の原因になります。

背もたれ部、肘掛部、脚部には乗らない。故障やけがのおそれがあります。

木床や畳など傷つきやすい床面で、キャスター移動や引きずっての移動をしない。
床面に傷がつきます。

本器を倒したり、強い衝撃を与えない。故障やけがのおそれがあります。

食後すぐに使用しない。気分が悪くなることがあります。

飲酒後は使用しない。 事故やけがのおそれがあります。

人や物を乗せて移動しない。故障やけがのおそれがあります。

本器に2人以上乗らない。故障やけがのおそれがあります。

素肌で使用しない。 素肌への直接のマッサージは皮膚を痛めることがあります。

ひじ、ひざ、頭部、腹部には使用しない。また、もみ玉部に手や足をはさまない。
体調不良やけがのおそれがあります。

頭部に髪飾りなどの固い物をつけて使用しない。けがのおそれがあります。

脚部や椅子の下側に手や頭などを入れない。事故やけがのおそれがあります。

脚部が上がった状態で、無理に乗り降りしない。故障やけがのおそれがあります。

操作スイッチ、タイマーなどが正常に動作することを確認する。
事故やけがのおそれがあります。

しばらく使用しなかった場合、もう一度取扱説明書をよく読み、機器が正常に動作することを確認してから使用する。事故やけがのおそれがあります。

使用しても効果が現れない場合、医師または、専門家に相談する。

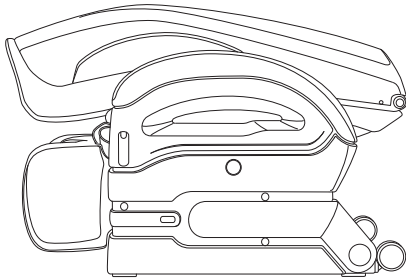
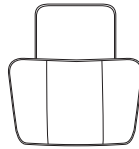
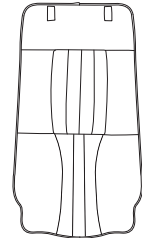
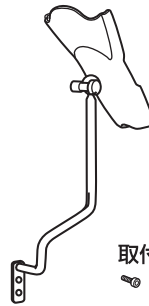
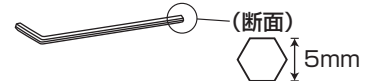
リモコンコードに足を引っ掛けないように気をつける。けがのおそれがあります。

もみ玉の位置を確認してから、ゆっくり座る。事故やけがのおそれがあります。

本体移動後は静かに設置する。傷の原因になります。

ご使用前の準備

梱包箱から本体と付属品を取り出す

本体

取扱説明書などの書類
・取扱説明書 ・組み立てチラシ ・保証書

お願い

付属品は、専用になりますので同梱されている物をご使用ください。

付属品

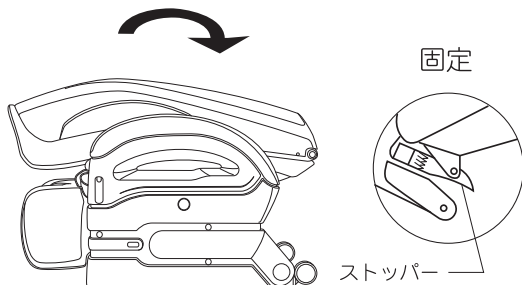
枕

背パット

リモコンスタンド

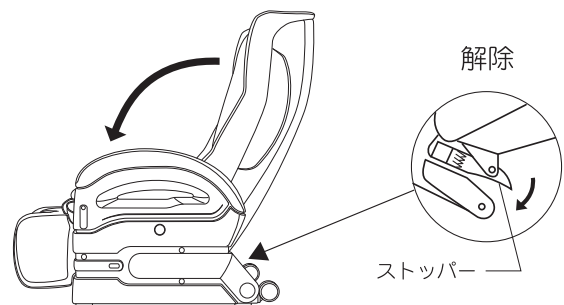
リモコンスタンド用六角レンチ

背もたれの組み立て・折りたたみ方

背もたれ部を矢印の方向に起こし、ストッパー（○部分）が固定されるのをご確認ください。（カチッと音がします。）

注意

背もたれ部を動かすときに、肘掛部と背もたれ部の間に手や指を入れないでください。

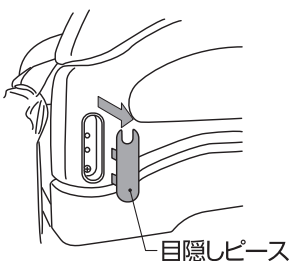
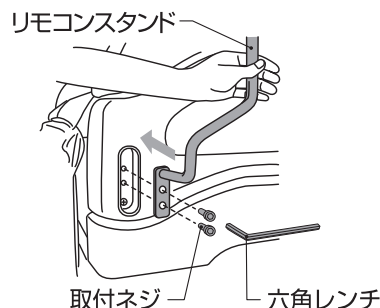
背もたれ部の下にあるストッパー（○部分）を矢印のように押し下げ、背もたれ部を前にゆっくり倒してください。

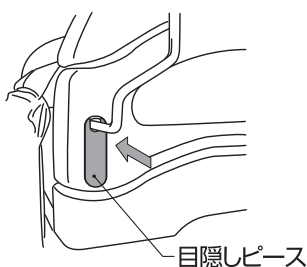
※急に倒れないように注意してください。

注意

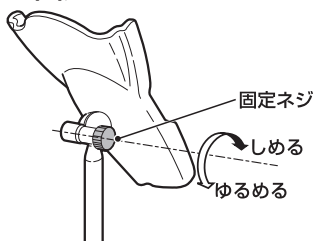
ストッパーの操作時には○部分以外にはふれないでください。

リモコンスタンドの取り付け方

完成図

1. 本体左側の肘掛部に付いている目隠しピースをはずします。

2. リモコンスタンドを取付けネジで2箇所しっかりと止めてください。

3. 目隠しピースを取り付けます。

目隠しピース

リモコンホルダーの調節

固定ネジを回して、お好みの位置で固定してください。

リモコンの取り付け方・はずし方

取り付け方
上から差し込むように取り付けてください。

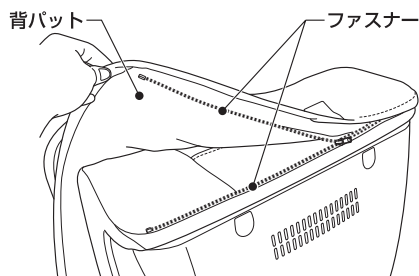
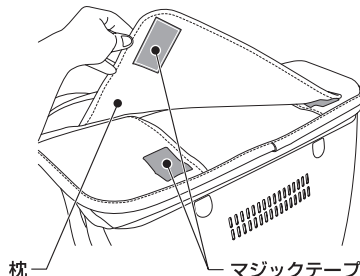
はずし方
上へ引き上げてください。

お願い
取りはずしの際は、取り付け方を参考に行ってください。

⚠ 注意
しっかりと取り付けていないと、リモコンスタンドが落下し、けがや故障の原因になります。

背パット・枕の取り付け方

背パットは、背もたれのファスナーに取り付けます。枕は、背パットのマジックテープに 取り付けます。

1.背パットを取り付けます。

2.枕を取り付けます。

- マッサージを行うときは、枕を後ろに回してお使いください。
- マッサージが強く感じる場合は枕を付けてお使いください。
- マッサージを行わないときは、背パット・枕を取り付けたままリクライニングチェアとしてお使いになれます。

警告

ご使用前に必ず背パットを上げて、背もたれ部の布地が破れていないか確認し、その他の部分にも破れがないか確認する。
（小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼してください。）布地が破れた状態で使用すると、感電やけがのおそれがあります。

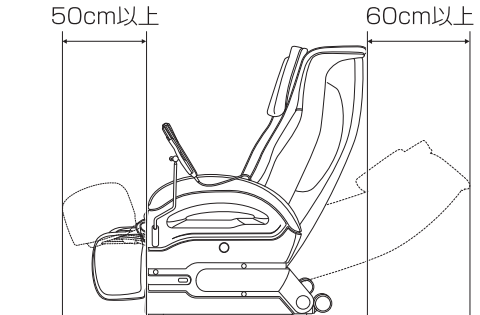
ご使用前の準備

本体の設置のしかた

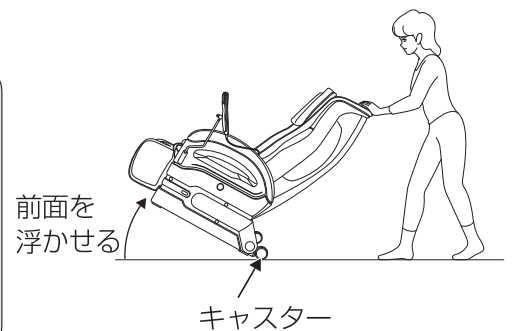
周囲にすき間をあけて、水平なところに設置します。

お願い　リクライニングしたとき脚部も上がりますので、あたらないようあらかじめ、前方向に50cm、後方向に60cm以上のすき間をあけてください。

お願い　たたみや床を傷つけることがありますので、本体の下にマットなどを敷くことをおすすめします。

お願い　直射日光が毎日長時間あたるところや、暖房器具の近くなど高温になるところへの設置は避けてください。張り地が変色したり、変質するおそれがあります。

本体の移動のしかた

本体の前面を浮かし、押して移動します。

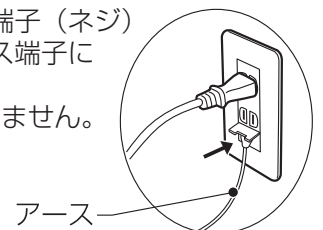
- **人や物を乗せて移動しないでください。**転倒のおそれがあります。
- **傷つきやすい床面で、キャスター移動や引きずっての移動をしないでください。**
- **座部や脚部は持たないでください。**
- **前面を浮かせる際は重量がありますのでご注意ください。**

アースについて

アースを確実に取り付ける。
アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。アースの取り付けは、ご購入先にご相談ください。

接続してはいけないところ

ガス管……爆発や引火の危険があります。
電話線や避雷針……落雷のとき危険です。
水道管……途中がプラスチックの場合はアースになりません。

電源コンセントにアース端子がある場合

- アース線を本体のアース端子（ネジ）と電源コンセントのアース端子に取り付けてください。
  （アース線は付属しておりません。ご購入ください。）

電源コンセントにアース端子がない場合

- ご購入先・電気工事店に相談し、アース工事（D種〈第3種〉接地工事・有料）をしてください。

本体

枕
マッサージをするときは外してください。

背もたれ部
背中全体のマッサージを行います。

注意シール

リモコンスタンド

注意タグ

背パット
この上にゆったりともたれてください。

座部
尻・もものエアーマッサージを行います。

脚部
脚部のエアーマッサージを行います。

電源スイッチ
ご使用後は「切」にしてください。

電源コード

電源プラグ

アース端子
※アースを取り付けてください。

キャスター

コインタイマー

マッサージの位置

メカ（もみ玉）のマッサージ領域

尻

もも

ふくらはぎ

各部のなまえとはたらき

リモコン

液晶表示部
情報を表示します。

「入/切」ボタン
押しても動作しません。

「自動コース」ボタン
マッサージしたい部位あるいはマッサージの内容を10種類の自動コースから選べます。

「リピート」ボタン
自動コース中に現在行っているマッサージを再度行うことができます。

「スキップ」ボタン
自動コース中に現在行っているマッサージを中止し、次のマッサージ部位に移ることができます。

「メニュー」ボタン
現在行っているマッサージの調節ができます。

「十字キー」
様々な場面で選択を行うときに使用します。

「決定」ボタン
選択を決定します。

「上げる」「下げる」ボタン
脚部の角度を調節できます。
※上下中はエアーを停止します。

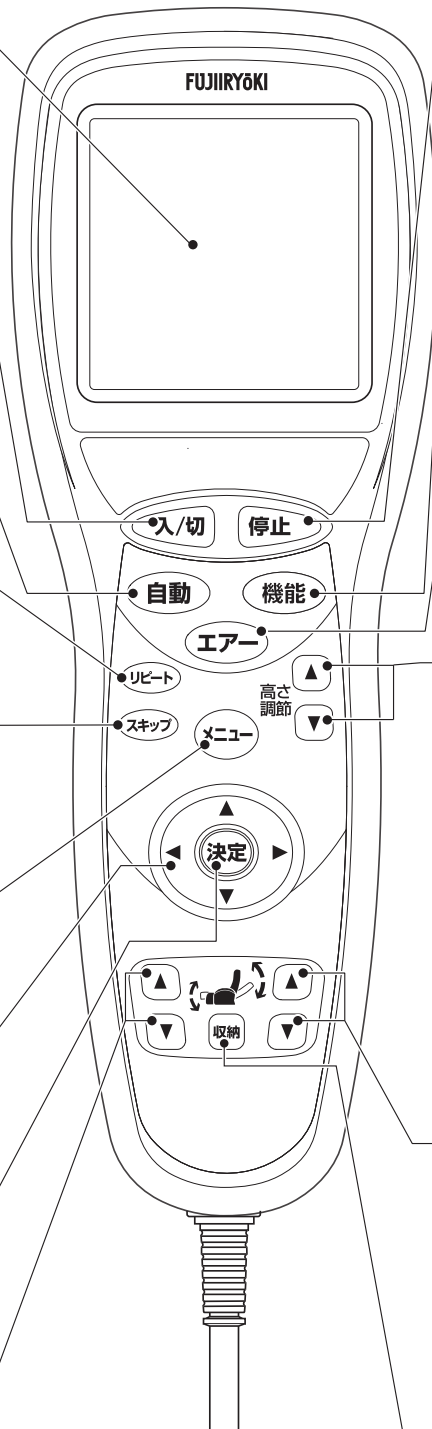
「停止」ボタン
全ての動作を停止します。
（すぐにマッサージを停止したいときに押してください。）

「機能」ボタン
23種類のマッサージの中からお好みの機能を選択することができます。

「エアー」ボタン
エアーマッサージしたい部位を2種類の中から選択できます。

「高さ調節」ボタン
自動コース中と選択機能時の肩位置設定時に肩位置微調節ができます。
※選択機能時にもみ玉の位置移動もできます。
※自動コース中で、メカ（もみ玉）が肩·背付近にあるときは「肩」の、腰付近にあるときは「腰」位置微調節画面が出ます。ただし、腰位置微調節は自動コース中の「腰極もみ」「腰極たたき」の時だけに対応します。

「起こす」「倒す」ボタン
背もたれと脚部の角度を調節できます。脚部は背もたれと連動します。
※リクライニング中は「エアー」「たたき」「さざなみ」の動作は停止します。

「収納」ボタン
押しても動作しません。

毎回マッサージをはじめる前に

電源を入れる

1 電源コードのプラグをコンセントに差し込む

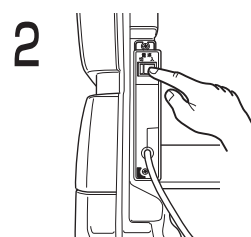
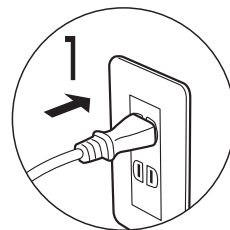
2 電源スイッチを入れる

- 電源スイッチは、左の肘掛部の後ろにあります。
- 電源投入後、初期状態の液晶表示部には右の画面が表示されます。

⚠警告

交流100V以外は使用しない。

電源コードや電源プラグが破損したり、コンセントの差し込みがゆるい時は使用しない。電源コードや電源プラグが破損した場合、ご購入先または「お客様相談窓口」に修理を依頼する。

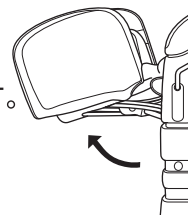
そのまま使い続けると感電やショート、火災の原因になります。

確認する内容

1 周囲を確認する

① 本体のうしろや脚部の前、下など、周囲に人やペット、物がないことを確認する。

〈スタンバイ位置〉

コインを投入すると自動的に脚部が約40度まで上がり、背もたれが約137度まで倒れます。

※周囲の確認は必ず行ってください。

2 本体を確認する

① 背パットを上げて背もたれの布地が破れていないか確認し、その他の部分にも破れがないか確認する。

※小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼してください。

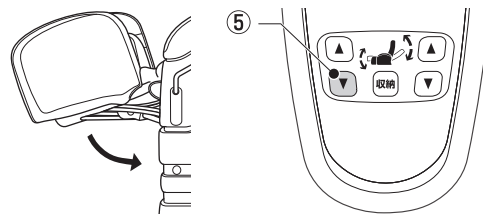
② 電源コードやリモコンコード、または物が本体に挟まっていないか確認する。

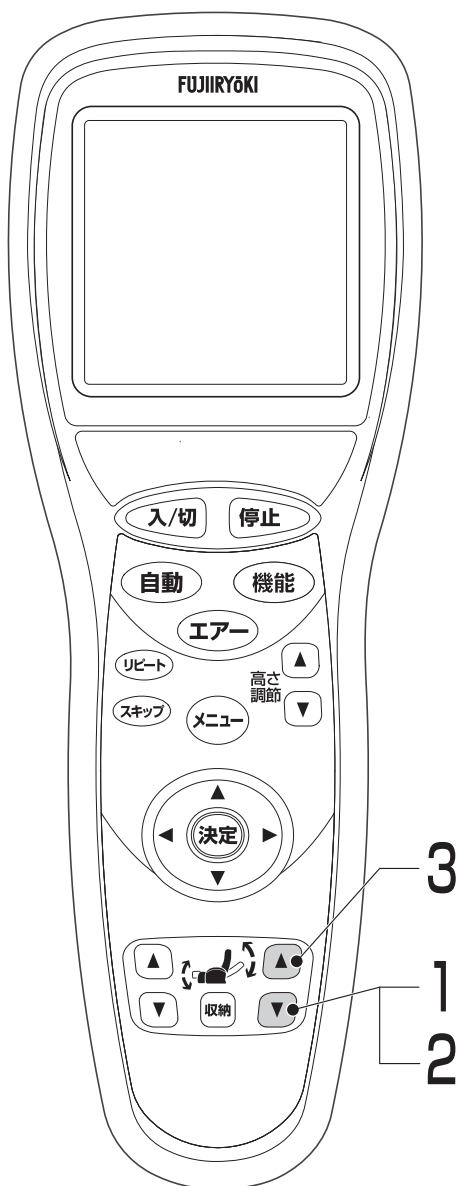
③ 電源コードやリモコンコード、電源プラグが傷んだり、プラグにピンやゴミが付いていないか確認する。

④ 座る前にもみ玉の位置を確認する。

- もみ玉は通常、収納位置（背もたれの最下部に引っ込んだ状態）にあります。

⑤ 座る前に脚部の位置を確認する。

- 脚部が上がった状態で、無理に座ろうとすると、けがをするおそれがあります。
  脚部の ▼ を押す。

椅子の調節のしかた

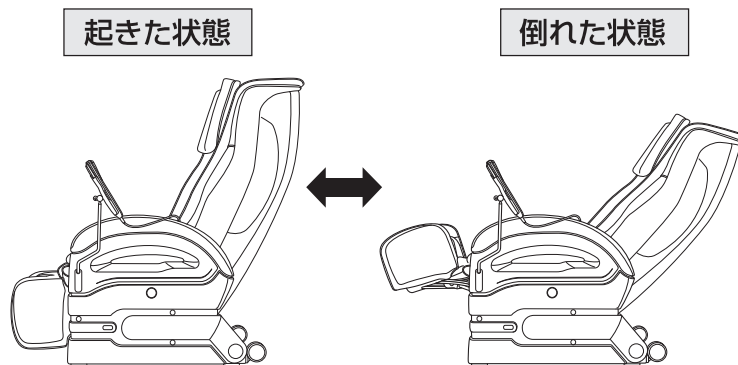
リクライニングの使い方

1 背もたれを倒すときは、リクライニングの ▼ を押します。

- リクライニングの ▼ を押し続けると背もたれが倒れ、脚部が上がります。
- 深く倒すほど、もみ玉の刺激が強くなります。

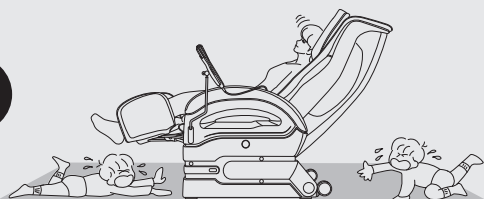
2 お好みの角度でリクライニングの ▼ から手を離します。

- 背もたれのリクライニング角度によって、脚部の角度も変わります。

3 背もたれを起こすときは、リクライニングの ▲ を押します。

- リクライニングの ▲ を押し続けると背もたれが起き、脚部が下がります。

⚠ 警告

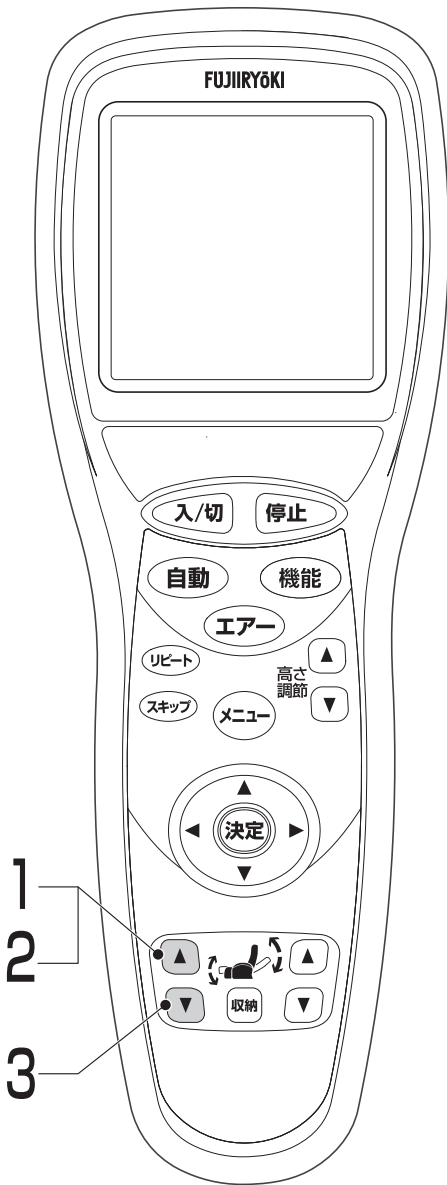
リクライニングするときや脚部を上げ下げするときは、うしろや脚部の下などに人やペット、物がないことを確認する。

事故やけがが、家財を傷めるおそれがあります。

⚠ 注意

背もたれ部、肘掛部、脚部には乗らない。

使用者、本体が転倒して、事故やけがのおそれがあります。

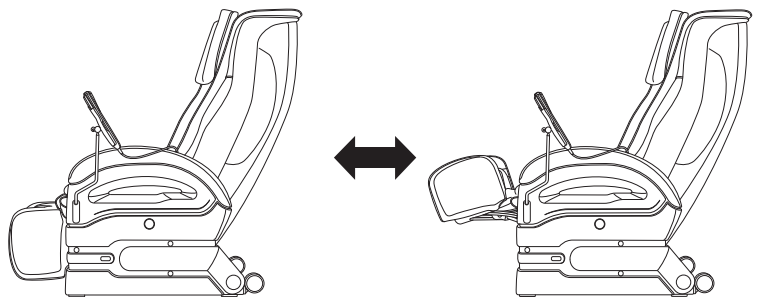
お願い　マッサージ中にリクライニングするときは、マッサージの強さを確認しながら徐々に倒してください。

脚部の使い方

1 脚部を上げるときは脚部の ▲ を押します。

- 脚部の ▲ を押し続けると脚部が上がります。

2 お好みの角度で脚部の ▲ から手を離します。

3 脚部を下げるときは脚部の ▼ を押します。

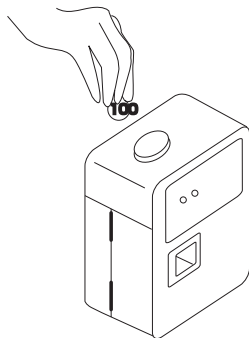
- 脚部の ▼ を押し続けると脚部が下がります。

⚠ 警告

脚部を下げるときは、脚部の下に足や手を挟まないようにする。また、脚部の下に人やペット、物がないことを確認する。

けがのおそれがあります。

自動コースの使い方

はじめに

- 電源投入後、初期状態の液晶表示部には右の画面が表示されます。

1 コインタイマーにコインを投入します。

- 全身コースの「疲労回復」が表示され、自動コースがスタートするとともに体形検出動作が始まります。

※自動的に脚部が約40度まで上がり、背もたれが約137度まで倒れます。

2 体形検出中は、検出ポイントが点灯し、検出インジケータで検出レベルを表示します。

※人が座っていない時や、体形検出できなかった時は「体形検出ができませんでした。」が表示されますのでもう一度 自動 を押して体形検出を行ってください。

3 体形検出後につづいて所定の肩位置に移動します。

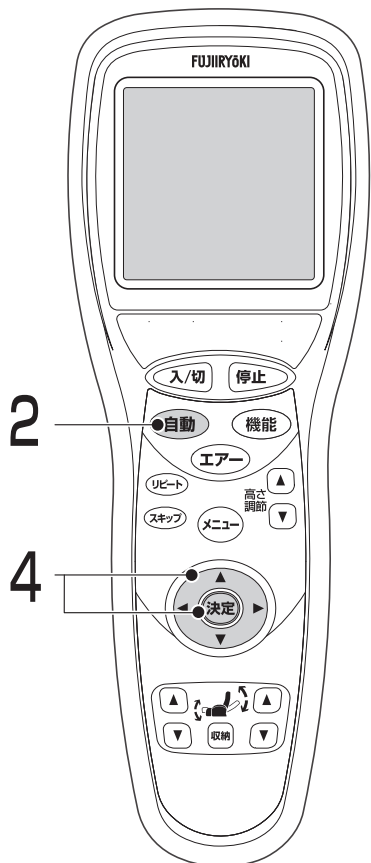
4 所定の肩位置が合わないときは、お好みの肩位置に合わせて微調節できます。「ピッ、ピッ…」のブザーが鳴っている間に、▲▼ を押して調節し、決定 を押します。

- このとき、◀▶ でもみ玉の前後位置も調節できます。自動コース中の「首ほぐし」「極もみ」「極たたき」動作時に調節した前後位置でマッサージします。
- 肩位置の微調節は高さ調節の ▲ ▼ でも調節できます。

5 コインタイマーがタイムアップすると、マッサージが終了します。

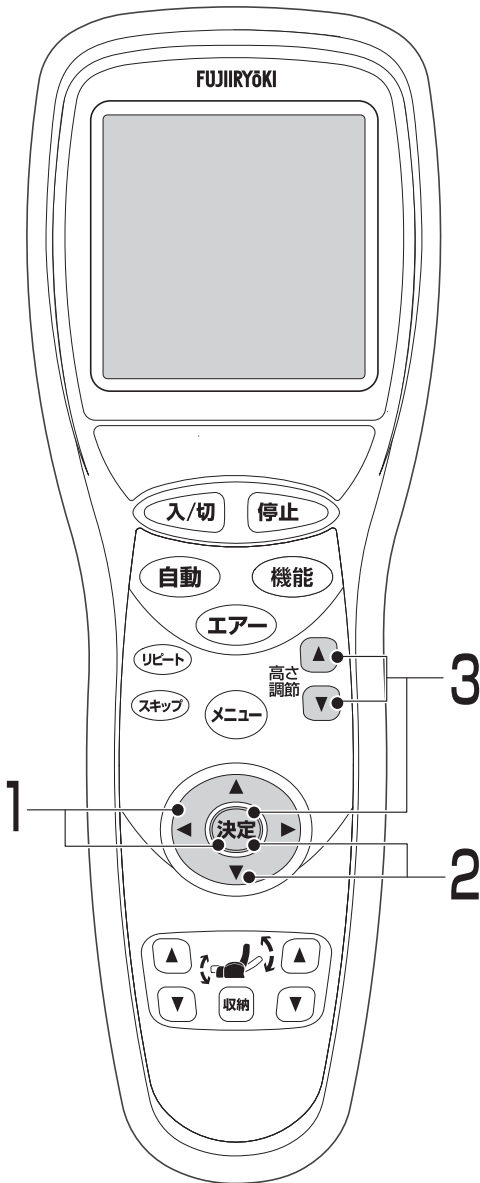
※自動的に脚部が収納位置まで下がり、背もたれが約132度まで起き上がります。

自動コース動作中の調節のしかた つづく

を押して調節し、決定を押します。

● メカ（もみ玉）によるマッサージの強さは7段階に調節できます。

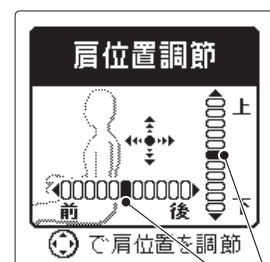
2 エアーによるマッサージの強さを調節したいとき

を押して調節し、決定を押します。

● エアーの強さは5段階に調節できます。

3 肩位置・もみ玉位置を調節したいとき

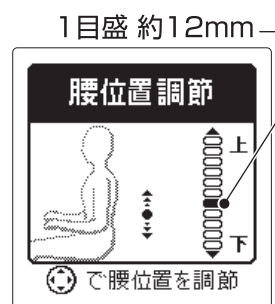
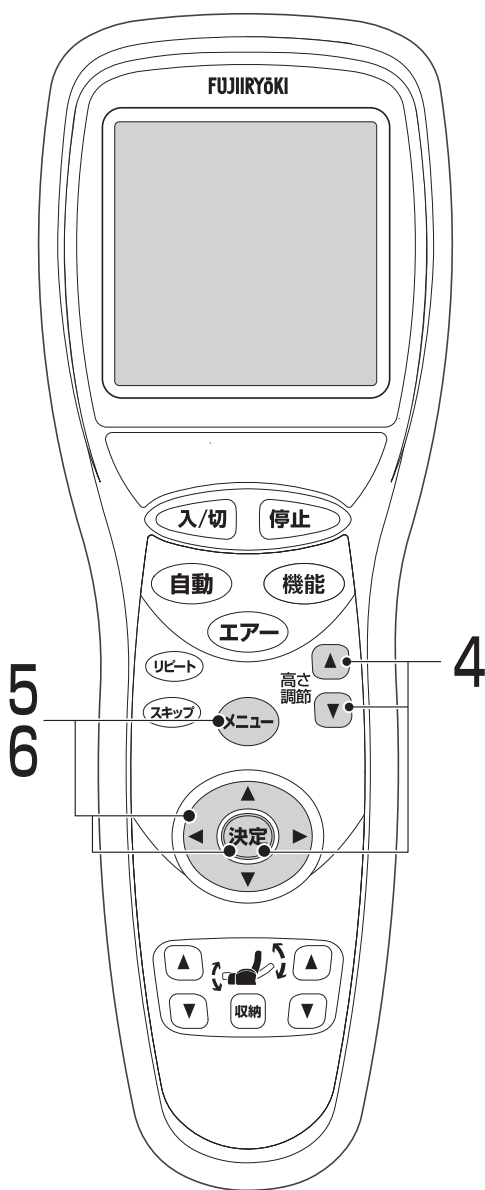
メカ(もみ玉)位置が肩･背付近にあるとき高さ調節の ▲ ▼ を押して調節し、決定を押します。

● 肩位置の調節は高さ調節の ▲ ▼ を一度押した後、でも調節できます。このとき、でもみ玉の前後位置も調節できます。

自動コース中の「首ほぐし」「極もみ」「極たたき」動作時に調節した位置でマッサージします。

自動コース動作中の調節のしかた

4 腰極もみ・腰極たたき位置を調節したいとき

メカ(もみ玉)位置が腰付近にあるとき、高さ調節の ▲ ▼ を押して調節し、決定 を押します。

- 腰位置の調節は高さ調節の ▲ ▼ を一度押した後、◁○▷ でも調節できます。
  自動コース中の「腰極もみ」「腰極たたき」動作時に調節した位置でマッサージします。

5 「パルス」を入/切したいとき

メニュー を押して ◁○▷ で「パルス」に合わせ、◁○▷ で「ON/OFF」を選択し、決定 を押します。

- パルスを選ぶとエアーによるマッサージが小刻みに回数多く行われます。
- 最初は「ON」に設定されています。
- 選択されている部分は反転表示されます。

6 「脚同時」を入/切したいとき

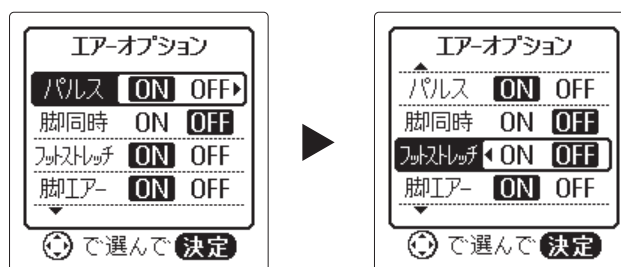
メニュー を押して ◁○▷ で「脚同時」に合わせ、◁○▷ で「ON/OFF」を選択し、決定 を押します。

- 脚同時とフットストレッチは同時に使用できません。
- 最初は「OFF」に設定されています。
- 脚エアー「OFF」のとき、脚同時を「ON」にすると、脚エアーも「ON」になります。

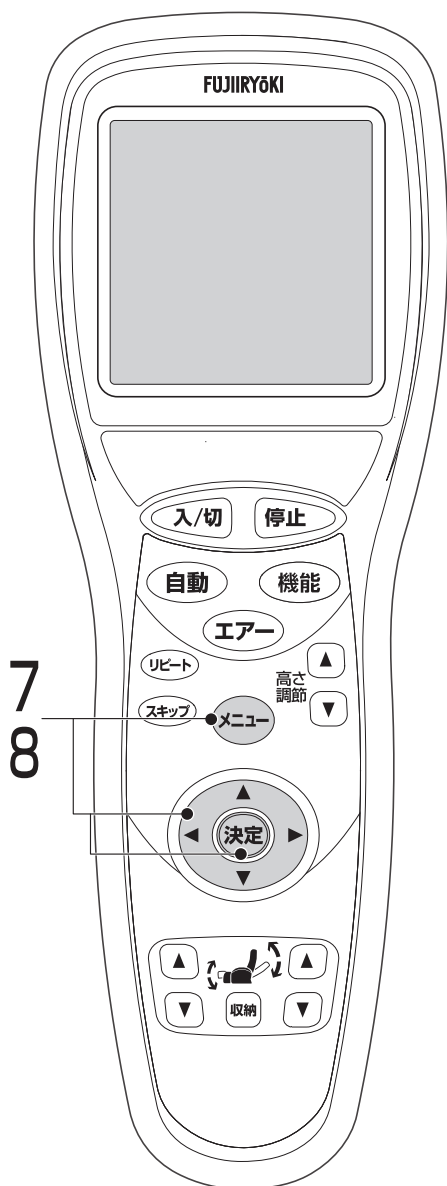
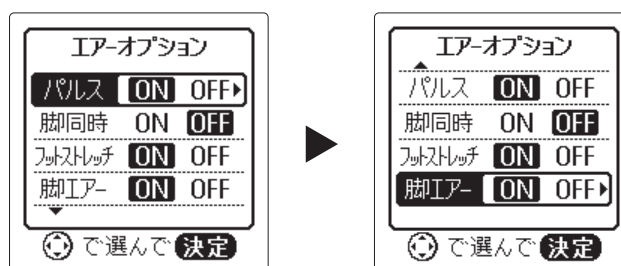
▶

7 「フットストレッチ」を入/切したいとき

メニュー を押して ◯ で「フットストレッチ」に合わせ、◯ で「ON/OFF」を選択し、決定 を押します。

- フットストレッチと脚同時は同時に使用できません。
- 最初は「ON」に設定されています。
- 脚エアー「OFF」のとき、フットストレッチを「ON」にすると、脚エアーも「ON」になります。

8 「脚エアー」を入/切したいとき

メニュー を押して ◯ で「脚エアー」に合わせ、◯ で「ON/OFF」を選択し、決定 を押します。

- 最初は「ON」に設定されています。
- 脚エアー、脚同時が「ON」のとき、脚エアーを「OFF」にすると、脚同時も「OFF」になります。
- 脚エアー、フットストレッチが「ON」のとき、脚エアーを「OFF」にすると、フットストレッチも「OFF」になります。

自動コース動作中の調節のしかた

9 現在行っているマッサージをもう一度したいとき

リピート を押します。

- 現在行っているマッサージを再度約30秒間続けて行うことができます。

※エアーマッサージはリピートできません。

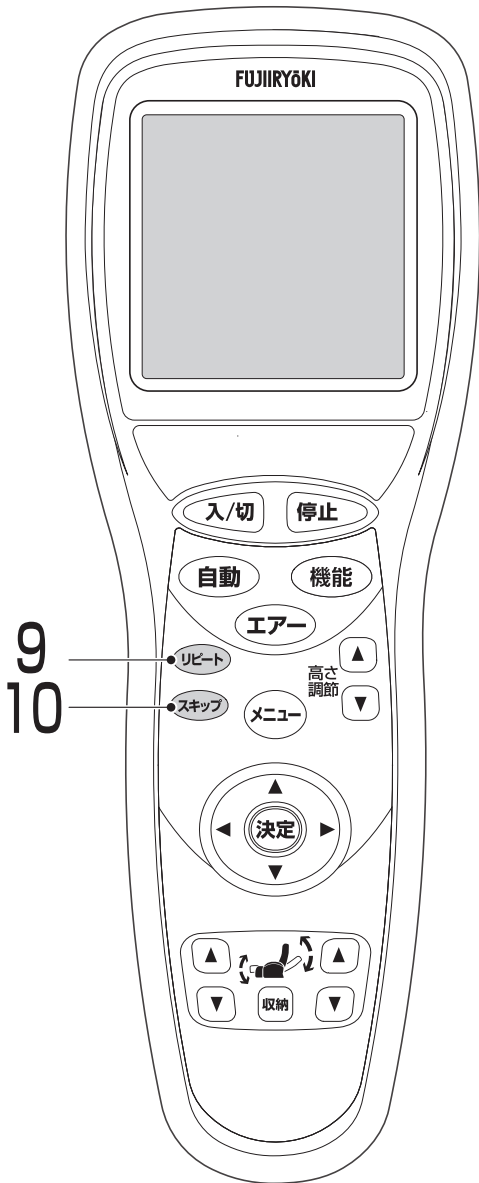
※リピート中に再度リピートを押すと、さらに約30秒間続けてマッサージを行います。

※リピート中にスキップを押すとリピートは解除されます。

10 現在行っているマッサージから次に進みたいとき

スキップ を押します。

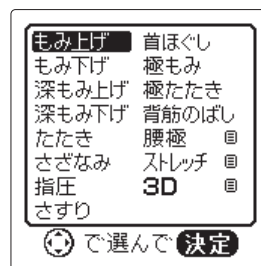
- 現在行っているマッサージを中止し、次のマッサージ、部位に移ることができます。

※エアーマッサージはスキップできません。

メカ（もみ玉）によるマッサージ機能の使い方

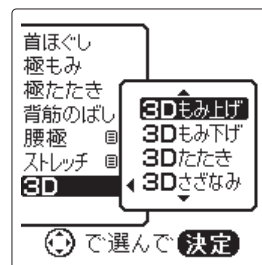
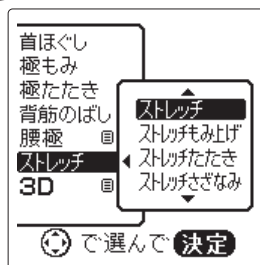
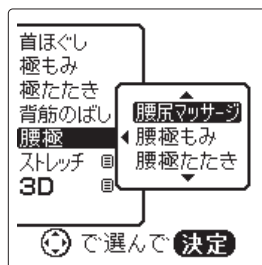
はじめに

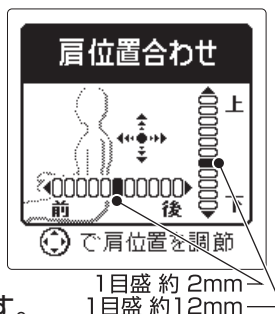
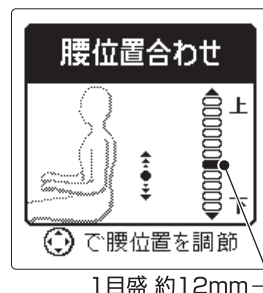
- メカによるマッサージからほかのメカによるマッサージへ変更する、自動コースからメカによるマッサージへ変更する場合。（P29参照）
- エアーによるマッサージにメカによるマッサージを複合する場合。（P26参照）

1 （機能）を押します。
または（十字キー）で「機能」を選択し、（決定）を押します。

- 機能の一覧が表示されます。

※（決定）を押さなくても5秒後にはスタートします。(以後も全て同じ。)

2 （十字キー）または（機能）でお好みの機能を選択し、（決定）を押します。

- 「腰極」「ストレッチ」または「3D」を選択する場合は「腰極」「ストレッチ」または「3D」にカーソルを合わせて、（十字キー）または（決定）を押し、（十字キー）または（機能）でお好みの機能を選択し、（決定）を押す。

- 「首ほぐし」「極もみ」「極たたき」「背筋のばし」を選択したときは、まず最初に肩位置の設定を行います。
このとき、もみ玉の前後の位置も設定できますが、「首ほぐし」「極もみ」「極たたき」を選択したときのみ有効です。
（十字キー）または高さ調節の（▲）（▼）で肩位置の調節、（十字キー）でもみ玉の前後位置を調節します。

肩位置合わせ
上
下
前
後
で肩位置を調節
1目盛 約 2mm
1目盛 約12mm

- 「腰極もみ」「腰極たたき」を選択したときは、腰位置の設定を行います。
（十字キー）または高さ調節の（▲）（▼）で腰位置の調節をします。
- 「背筋のばし」を選択して、「もみ上げ」「もみ下げ」「深もみ上げ」「深もみ下げ」「たたき」「さざなみ」「指圧」「さすり」「ストレッチ」「3D」を選ぶと「背筋のばし」と複合動作になります。

1目盛 約12mm

メカ(もみ玉)によるマッサージ機能動作中の調節のしかた

1

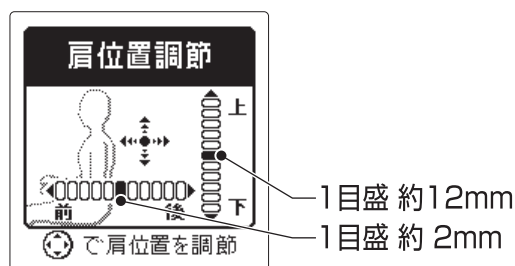
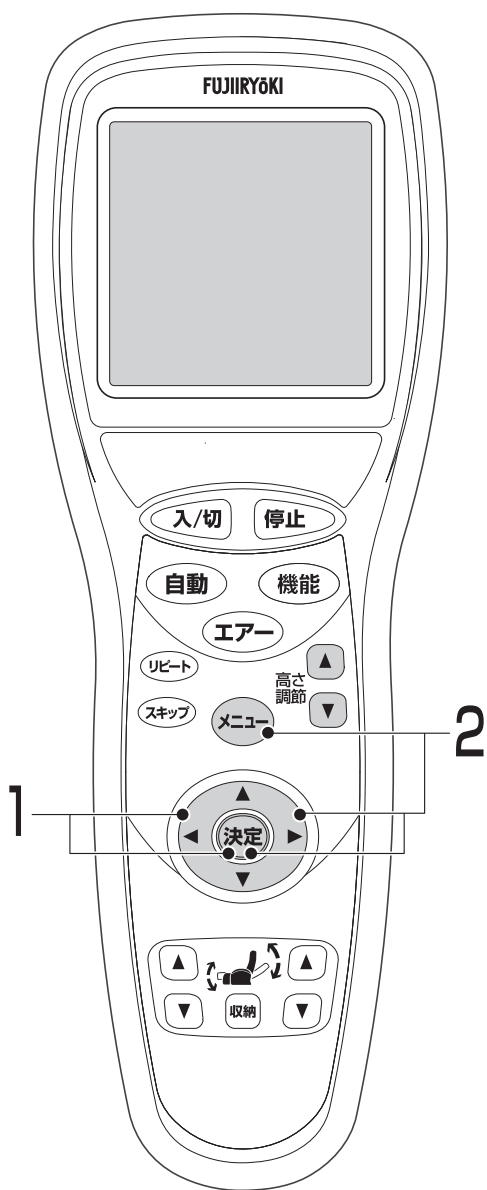
を押して調節し、 決定 を押します。

- メカ(もみ玉)によるマッサージの強さは7段階に調節できます。
- 「もみ上げ」「もみ下げ」「たたき」「さざなみ」「指圧」「背筋のばし」「ストレッチ」動作時のみ設定できます。

2 マッサージ部位(ポイント/部分/全体)を選択したいとき

メニュー を押して で「部位」に合わせ、で「ポイント/部分/全体」を選択し、決定 を押します。

- 「全体」を選択したときは、まず最初に肩位置の設定を行います。このとき、もみ玉の前後の位置も設定できますが、「首ほぐし」「極もみ」「極たたき」を選択したときのみ有効です。

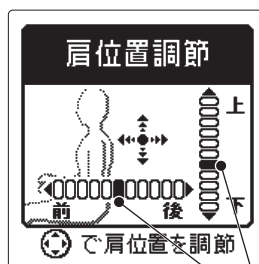
  または高さ調節の ▲ ▼ で肩位置の調節、でもみ玉の前後位置を調節します。

※すでに「首ほぐし」「極もみ」「極たたき」「背筋のばし」でマッサージを行っていた場合は、肩位置設定を行っていますので、設定をする必要はありません。

3 マッサージ部位（ポイント/部分）の高さを調節したいとき

高さ調節の ▲ ▼ を押して調節します。

- マッサージ部位が「ポイント」または「部分」でご使用のとき、調節できます。

4 首ほぐし/極もみ/極たたきの肩、前後位置を調節したいとき

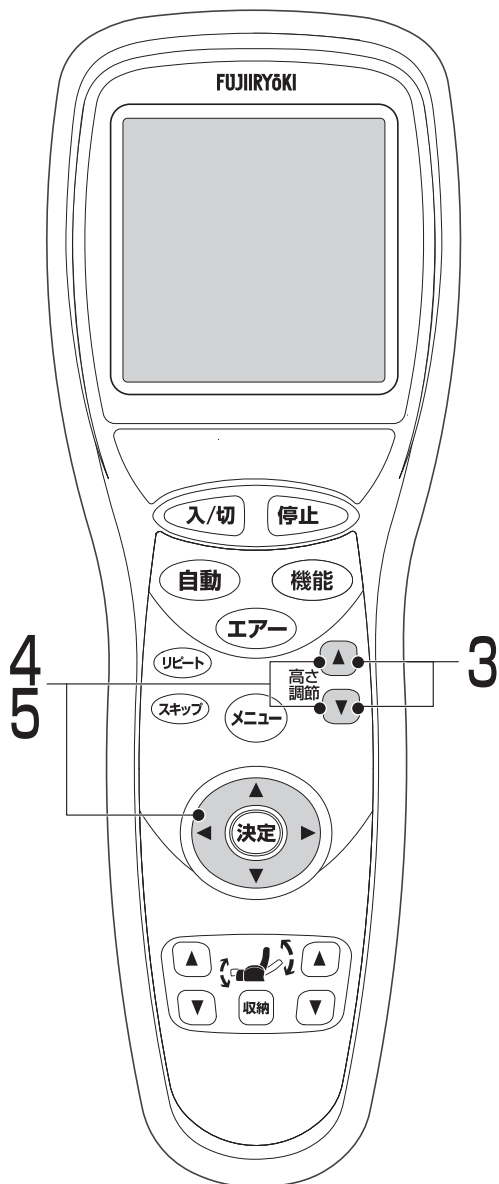
高さ調節の ▲ ▼ を一度押すと調節画面が表示されます。

（十字キー）または高さ調節の ▲ ▼ で肩位置の調節、（十字キー）でもみ玉の前後位置を調節します。

1目盛 約 2mm
1目盛 約12mm

5 腰極もみ/腰極たたきの腰位置を調節したいとき

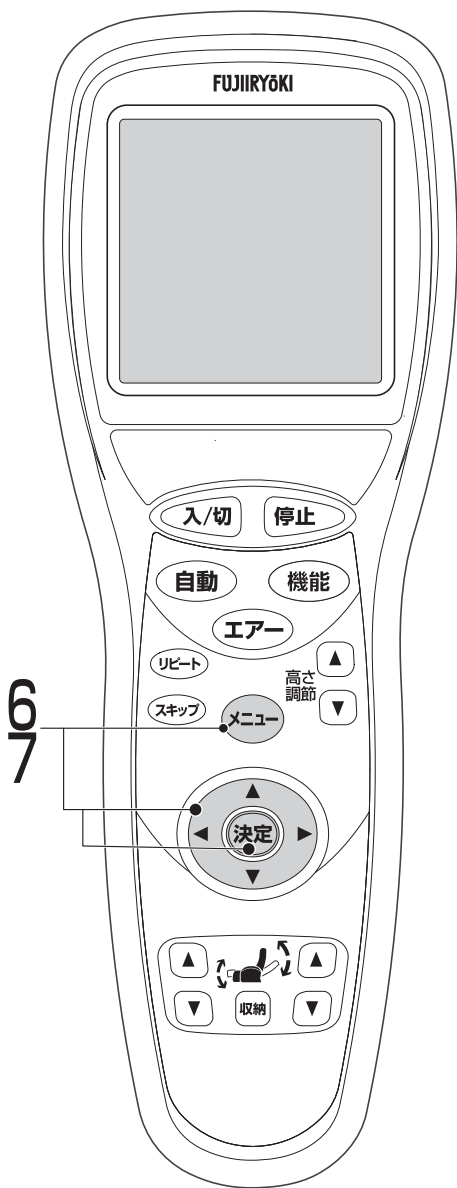
高さ調節の ▲ ▼ を一度押すと調節画面が表示されます。

（十字キー）または高さ調節の ▲ ▼ で腰位置の調節します。

1目盛 約12mm

メカ(もみ玉)によるマッサージ機能動作中の調節のしかた

6 メカ（もみ玉）によるマッサージの速さを調節したいとき

メニューを押してで「速さ」に合わせ、で「遅い/速い」を選択し、決定を押します。

※「もみ上げ」「もみ下げ」「深もみ上げ」「深もみ下げ」「たたき」「さざなみ」「さすり」「ストレッチもみ上げ」「ストレッチたたき」「ストレッチさざなみ」動作時のみ設定できます。

7 メカ（もみ玉）によるマッサージの幅を調節したいとき

メニューを押してで「幅」に合わせ、で「せまい/ふつう/ひろい」を選択し、決定を押します。

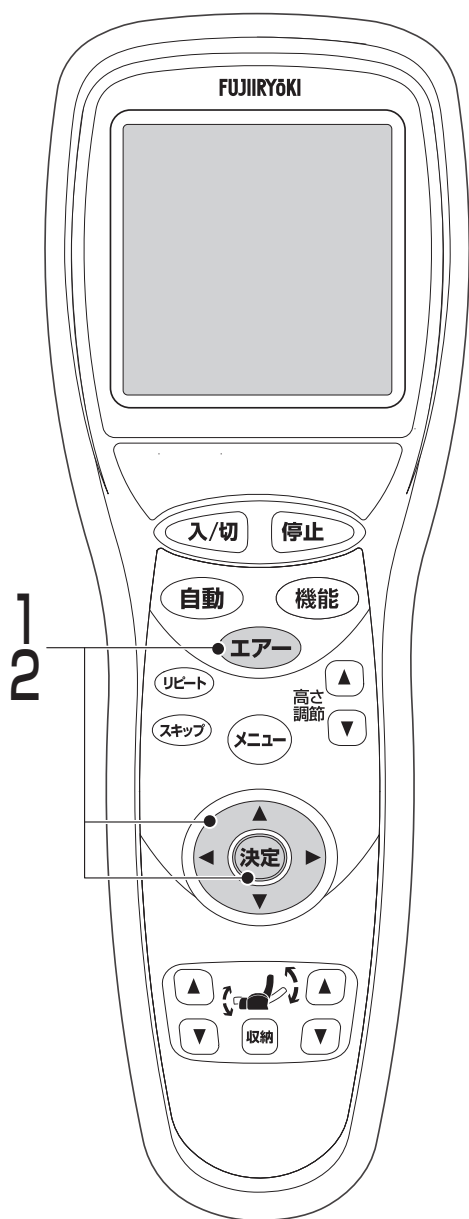
※「たたき」「指圧」「背筋のばし」「ストレッチ」「ストレッチたたき」「3Dたたき」動作時のみ設定できます。

エアーによるマッサージ機能の使い方

はじめに

- エアーによるマッサージからほかのエアーによるマッサージへ変更する、自動コースからエアーによるマッサージへ変更する場合。（P30参照）
- メカによるマッサージにエアーによるマッサージを複合する場合。（P25参照）

1 エアー を押します。

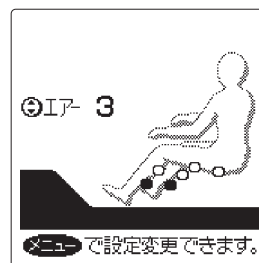
または　で「エアー」を選択し、決定を押します。

- 機能の一覧が表示されます。

※ 決定 を押さなくても5秒後にはスタートします。（以後も全て同じ。）

2 　でお好みの機能を選択し、　で「ON/OFF」を選択し、決定 を押します。

- 最初はすべて「ON」に設定されています。

もも・尻を選んでOFFにした例

3 選択した機能を開始します。

エアーによるマッサージ機能動作中の調節のしかた

1 エアーによるマッサージの強さを調節したいとき

を押して調節し、
決定 を押します。

- エアーの強さは5段階に調節できます。

2 「パルス」を入/切したいとき

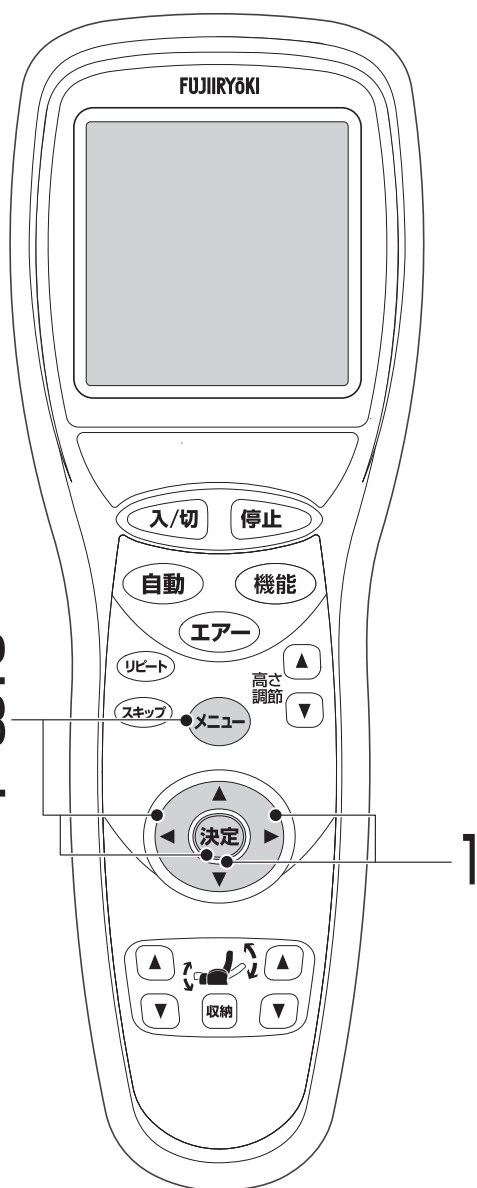
メニュー を押して で「パルス」に合わせ、で「ON/OFF」を選択し、決定 を押します。

- 最初は「OFF」に設定されています。

3 「脚同時」を入/切したいとき

メニュー を押して で「脚同時」に合わせ、で「ON/OFF」を選択し、決定 を押します。

- 最初は「OFF」に設定されています。
- 脚同時とフットストレッチは同時に使用できません。
- 脚エアー「OFF」のとき、脚同時を「ON」にすると、脚エアーも「ON」になります。

▶

4 「フットストレッチ」を入/切したいとき

メニュー を押して で「フットストレッチ」に合わせ、で「ON/OFF」を選択し、決定 を押します。

- 最初は「OFF」に設定されています。
- フットストレッチと脚同時は同時に使用できません。
- 脚のエアーマッサージをしていないときに「フットストレッチ」を「ON」にすると、脚のエアーマッサージを行います。

▶

メカ（もみ玉）によるマッサージ機能動作中にエアーによるマッサージを複合したいとき

脚/もも・尻のエアーマッサージを複合する場合

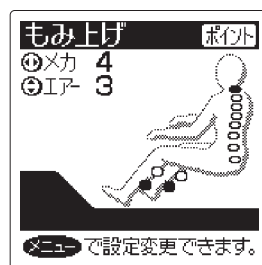
1 エアー を押します。

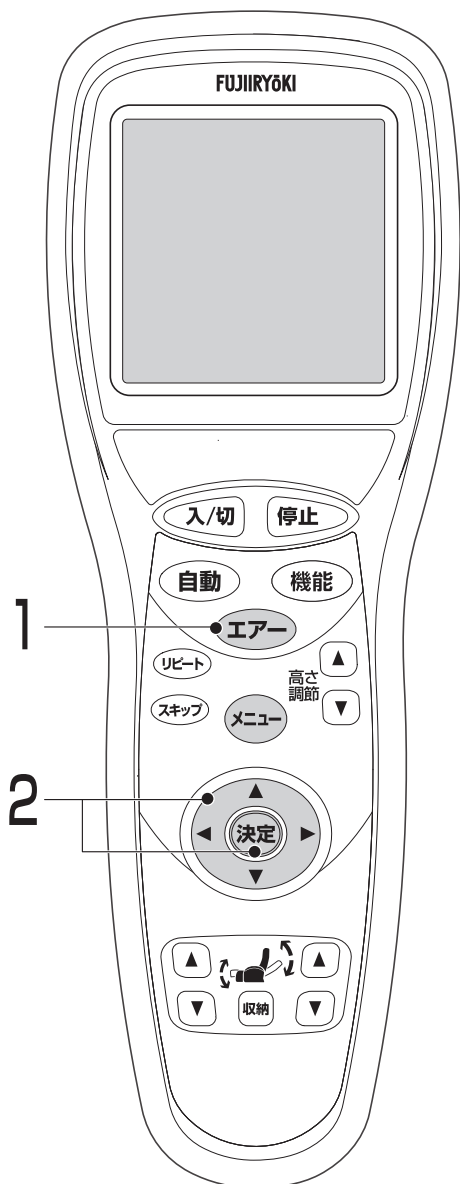
- 機能の一覧が表示されます。

2 でお好みの機能を選択し、で「ON/OFF」を選択し、決定 を押します。

- 最初はすべて「ON」に設定されています。

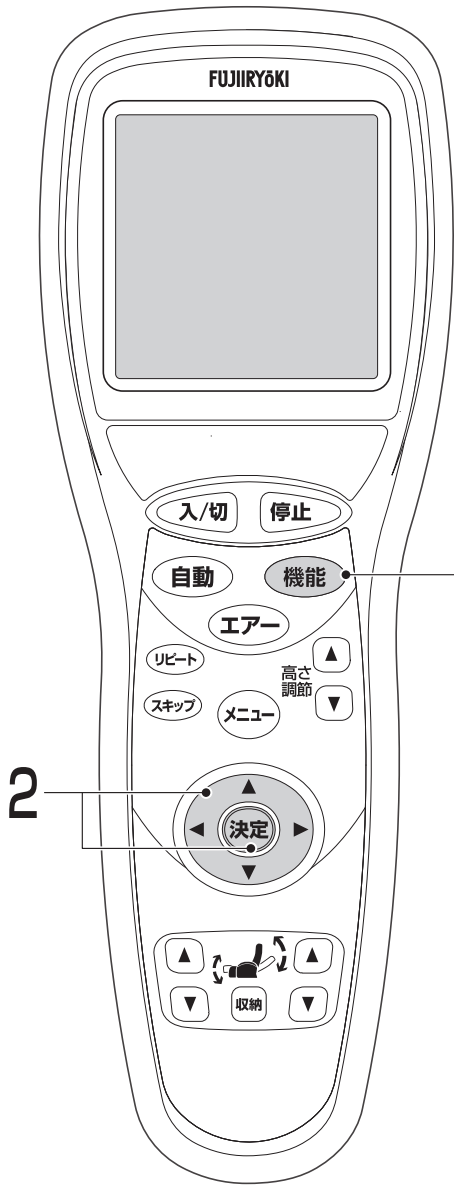
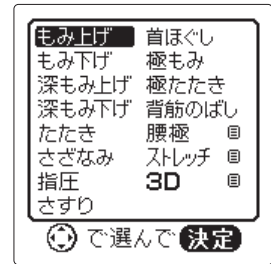
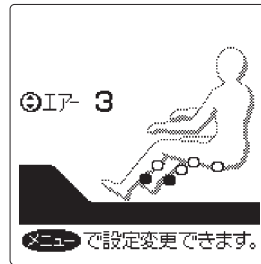
もも・尻を選んでOFFにした例

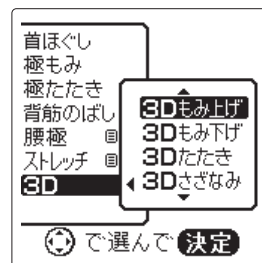
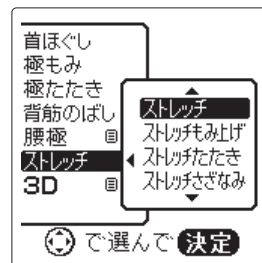
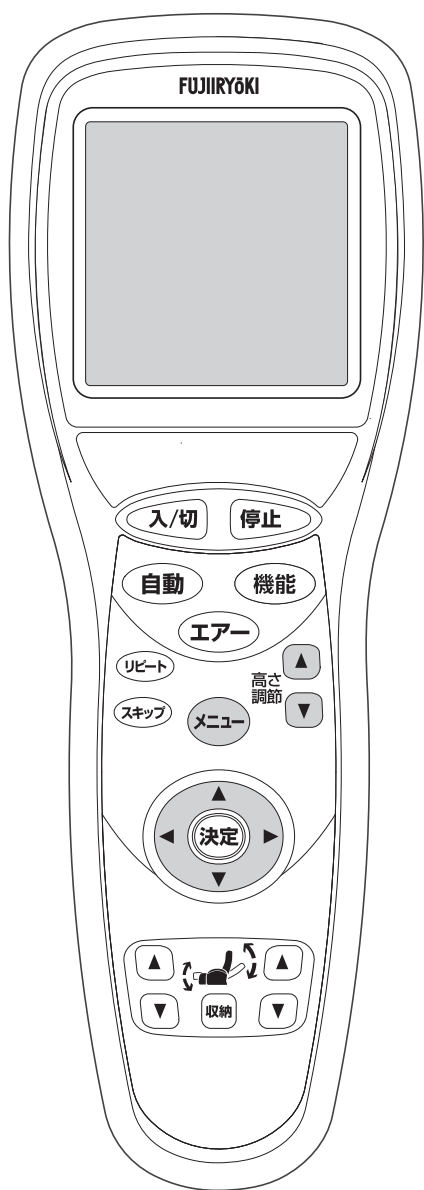
3 選択した機能を開始します。

- マッサージ機能を調節する場合は、各マッサージの調節のしかたを参照ください。
  メカ（もみ玉）によるマッサージ機能動作中の調節のしかた。（P20参照）
  エアーによるマッサージ機能動作中の調節のしかた。（P24参照）

※ 複合マッサージ中に メニュー を押して、機能の調節を行うときの表示は右のようになります。

メカ（もみ玉）とエアーの複合マッサージのしかた

エアーによるマッサージ機能動作中に メカ（もみ玉）によるマッサージを複合したいとき

1 機能 を押します。

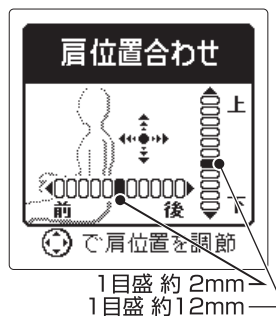
- 機能の一覧が表示されます。

2 または 機能 でお好みの機能を選択し、決定 を押します。

- 「腰極」「ストレッチ」または「3D」を選択する場合は「腰極」「ストレッチ」または「3D」にカーソルを合せて、 または 決定 を押し、 または 機能 でお好みの機能を選択し、決定 を押す。

● 「首ほぐし」「極もみ」「極たたき」「背筋のばし」を選択したときは、まず最初に肩位置の設定を行います。このとき、もみ玉の前後の位置も設定できますが、「首ほぐし」「極もみ」「極たたき」を選択したときのみ有効です。

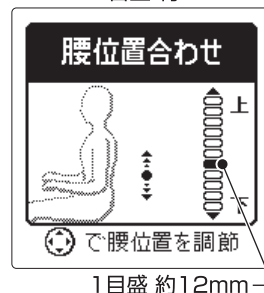
または高さ調節の▲ ▼で肩位置の調節、でもみ玉の前後位置を調節します。

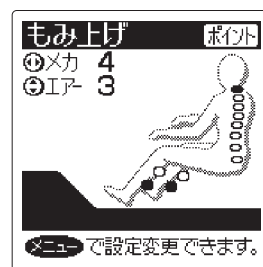
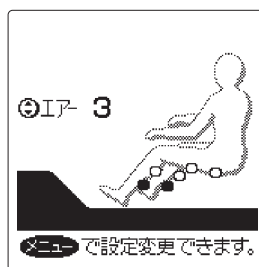
肩位置合わせ

上
下
前
後
で肩位置を調節

1目盛 約 2mm
1目盛 約12mm

● 「腰極もみ」「腰極たたき」を選択したときは、腰位置の設定を行います。

または高さ調節の▲ ▼で腰位置の調節をします。

1目盛 約12mm

● 「背筋のばし」を選択して、「もみ上げ」「もみ下げ」「深もみ上げ」「深もみ下げ」「たたき」「さざなみ」「指圧」「さすり」「ストレッチ」「3D」を選ぶと「背筋のばし」と複合動作になります。

3 選択した機能を開始します。

● マッサージ機能を調節する場合は、各マッサージの調節のしかたを参照ください。

メカ(もみ玉)によるマッサージ機能動作中の調節のしかた。(P20 参照)

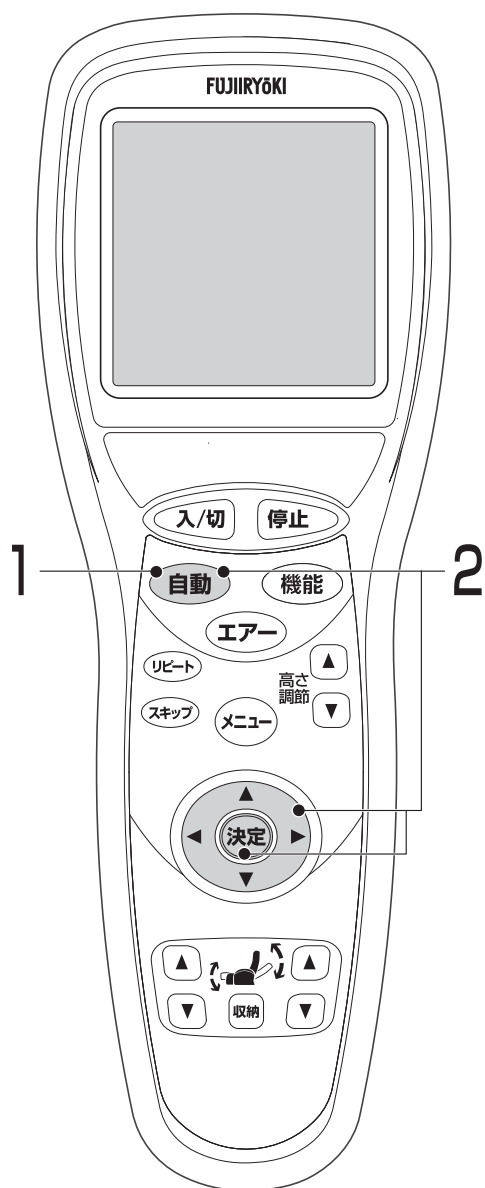
エアーによるマッサージ機能動作中の調節のしかた。(P24参照)

複合マッサージ中に メニュー を押して、機能の調節を行うときの表示は右のようになります。

途中でマッサージを変更するときは

- 自動コースの途中でも、コース終了まで待つことなく、ほかの動作に切り替えられます。

自動コース▶ほかの自動コースへの変更

自動コース以外のマッサージ▶自動コースへの変更

1 自動 を押します。

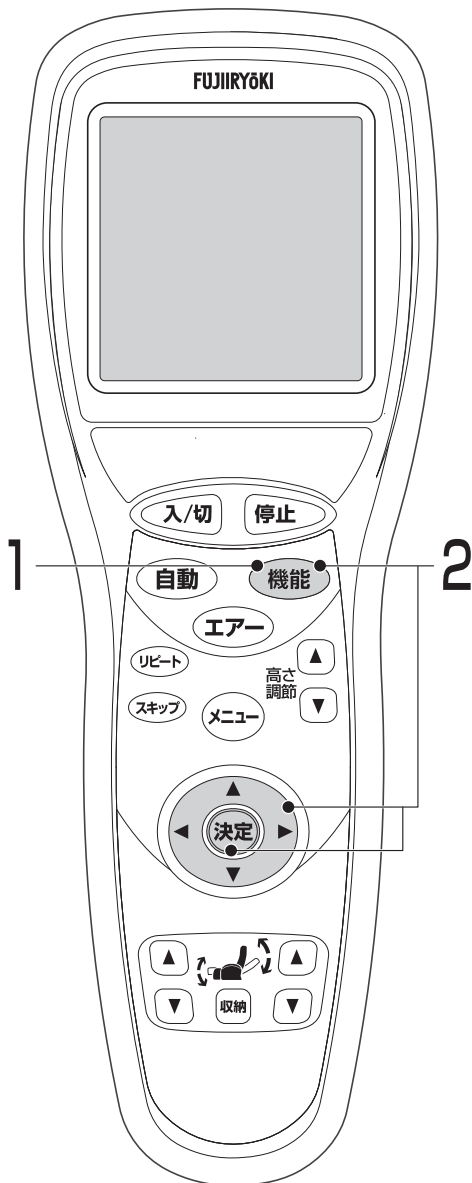
- 自動コースの一覧が表示されます。

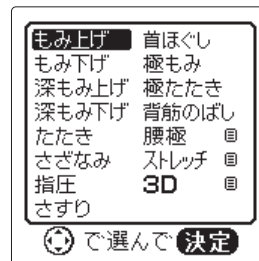
2 または 自動 でお好みのコースを選択し、決定 を押します。

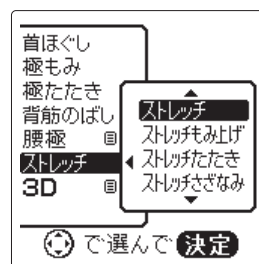
※但し、マッサージ開始後、連続で最大30分になると、停止します。

● 自動コースの途中でも、コース終了まで待つことなく、ほかの動作に切り替えられます。

メカ（もみ玉）によるマッサージ ▶ ほかのメカ（もみ玉）によるマッサージへの変更

自動コース ▶メカ（もみ玉）によるマッサージへの変更

1 機能 を押します。

● 機能の一覧が表示されます。

2 または 機能 でお好みの機能を選択し、決定 を押します。

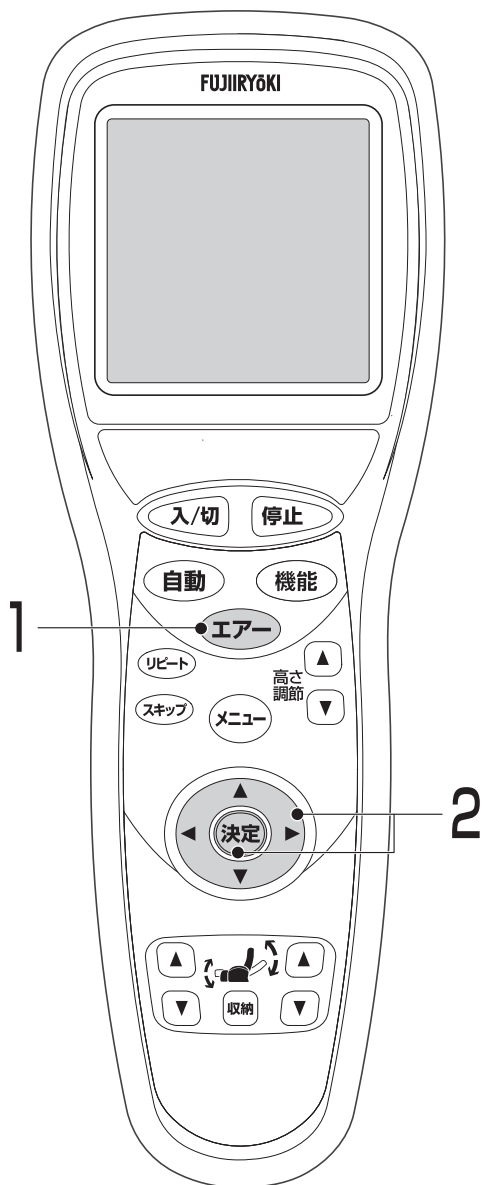
● 詳細はメカ（もみ玉）によるマッサージ機能の使い方（P19参照）を確認ください。

※ 但し、マッサージ開始後、連続で最大30分になると、停止します。

途中でマッサージを変更するときは

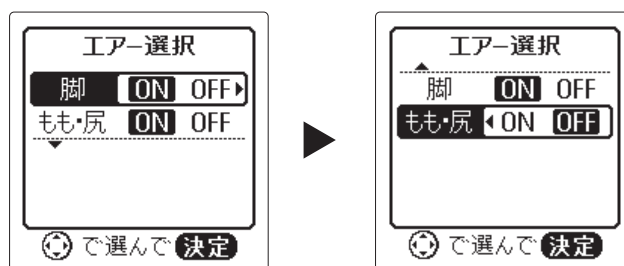
● 自動コースの途中でも、コース終了まで待つことなく、ほかの動作に切り替えられます。

エアーによるマッサージ ▶ ほかのエアーによるマッサージへの変更

自動コース ▶ エアーによるマッサージへの変更

1 エアー を押します。

● 機能の一覧が表示されます。

2 でお好みの機能を選択し、で「ON/OFF」を選択し、決定 を押します。

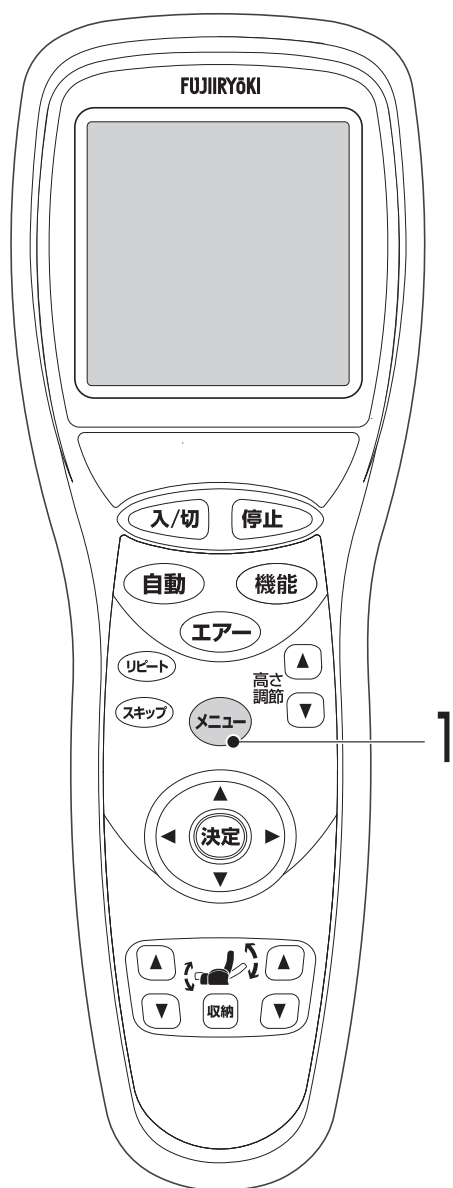
● 最初はすべて「ON」に設定されています。

※ 但し、マッサージ開始後、連続で最大30分になると、停止します。

その他の機能

1 バックライトを点灯したいとき

- 「バックライト」機能は、周りが暗く画面が見にくいときに液晶表示部にバックライトを点灯する機能です。

初期状態で、（メニュー）を2秒間長押しします。「ピッ」とブザーが鳴り、バックライト画面が表示されます。

- バックライトを消灯するときは、同じ作業を行うか、電源スイッチを切ってください。

お手入れと保管のしかた

本体：張地・背パット・枕・座（PVCレザー）

お願い　レザー部分のお手入れは、中性洗剤を含ませた布でふいた後、水を含ませた布でふきとり、乾いた布でふいて自然乾燥させてください。（使い過ぎるとレザー地をいためることがあります。）
塗装部分は乾いた布でふいてください。

お願い　機器は清潔にし、温度・湿気・ほこりなどの悪影響が少ない所に保管してください。

⚠注意

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。また、濡れた手で抜き差ししない。
感電やけがのおそれがあります。

⚠注意

ベンジン、シンナー、アルコールでふいたり、殺虫剤をかけない。感電・引火の原因になります。

本体

プラスチック、パイプ、肘掛部の汚れは中性洗剤を浸し、固く絞った布でふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ってください。
※塗装部分は乾いた布でふいてください。

注意

ベンジン、シンナー、アルコール、その他の溶剤やみがき粉などは使用しないでください。
キズ、変色、ひび割れの原因になります。

リモコン

リモコンの汚れは、乾いた布でふき取ってください。

注意

絶対に濡れたタオルなどでふかないでください。
故障の原因になります。

背パット・枕・座 その他布地

汚れが付いたときは、中性洗剤を含ませた布でふいた後、水を含ませた布でふきとり、乾いた布でふいて自然乾燥させてください。

注意

アイロンがけはしないでください。

保管のしかた

汚れやほこりを取った後、湿気の少ない所に保管してください。

長い間ご使用にならないときは、カバーなどをかけてほこりが付かないようにしてください。

注意

直射日光が長時間当たる所、ストーブなどの近くの高温になる所には保管しないでください。
変色・変質の原因になります。

故障かなと思ったら

ご使用中に下記のような音や感覚がありますが、構造上のもので異常ではなく寿命などに影響はありません。

- もみ玉上下移動時のカタカタ音
- 「速さ」調節による音の違い
- マッサージ作動時のギア・モーターの音
- もみ玉と布のすれる音（特に、もみ動作時）
- たたき、さざなみ動作時のガタガタ音(特に肩から背中への移動時)
- もみ、たたき、さざなみ動作時に、もみ玉への力の加わり方によっては、マッサージ動作スピードが変わる場合があります。
- リクライニング時の背もたれや座のこすれ音（ギュー音）
- エアー作動時のコンプレッサーの動作音ならびにエアーの排気音
- 自動コースで使用者の体形に合わせてもみ玉を前後に自動調節している音（クックッ音）
- 負荷をかけた時のモーターのうなり音
- エアーバッグが膨らむときに出る音
- 左右のもみ玉の高さが異なる
  （交互たたき機構を採用しているため、やむをえず発生するもので故障ではありません。）

⚠警告

絶対に改造しない。また、ご自分で分解、修理をしない。

発火したり、異常動作して、けがをするおそれがあります。

こんなときは	ここを点検してください	対応のしかた	参考ページ
作動しない	電源コードのプラグが抜けていませんか?	電源コードのプラグをコンセントに入れてください。	9・11
	肘掛部後ろの電源スイッチが切れていませんか?	電源スイッチを入れてください。	9・11
動作が途中で止まる (リモコンを押しても作動しない)	背の部分が壁や障害物に当たっていませんか?	障害物に当たらないように本体を移動してください。 肘掛部の後ろの電源スイッチを入れ直してください。	8・9・11
	無理な力がかかっていませんか? (安全のため、もみ玉に無理な力がかかると安全装置が働き、全ての機能が停止します。)	一旦背もたれから体を離し、肘掛部の後ろの電源スイッチを入れ直し、動作スイッチを押し、もう一度初めからやり直してください。	9・11
リクライニングができない	電源コードのプラグが抜けていませんか?	電源コードのプラグをコンセントに入れてください。	11・12・13
	背の部分が壁や障害物に当たっていませんか?	障害物に当たらないように本体を移動してください。	8・12・13

※コインタイマー終了後、脚部が自動で下がらないときは、リモコンのリクライニング ▲ を押して背もたれを一番起こした状態にしてください。

お願い

マッサージ動作中や、メカ(もみ玉)の移動中に誤ってメカ(もみ玉)と座部の間にからだや物がはさまってしまったとき、保護機能がはたらき少し上に上がってから停止します。そのとき、リモコン液晶中に『保護機能作動 電源スイッチを入れ直し 入/切 を押す』が表示されます。保護機能がはたらいた原因を取り除き、表示内容に従って、再度電源を入れなおしてください。

エラー発生
電源スイッチを入れ直し
入/切 を押す

リモコンの液晶に『エラー発生 電源スイッチを入れ直し 入/切 を押す』が表示された場合は、表示内容に従って、再度電源を入れなおしてください。

※上記の対応を行っても、動作を行わないまたは、同じようなことが度々生じる場合には、本体の電源スイッチを「切」にし、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いたうえで、ご購入先または、お客様相談窓口までお問い合わせください。

仕　様

品名		マッサージチェア
品番		OH-660 (DX)
類別		機械器具　77　バイブレーター
一般的名称		家庭用電気マッサージ器 (JMDNコード 34662000)
医療機器認証番号		222AGBZX00064000
定格	電源　　(50／60Hz)	AC100V
	定格時間	30分
	消費電力 (50／60Hz)	110W
メカ（もみ玉）マッサージの速さ	もみ	3段階調節（約20～約30回転／分）
	たたき	3段階調節（約270～約650回転／分）
	上下移動	約4.9cm／秒
エアーマッサージ空気圧		約36kPa
メカ（もみ玉）マッサージの強さ		7段階調節
エアーマッサージ強さ		5段階調節
リクライニング角度	背もたれ	約120度～約137度
	脚部	約0度～約75度
寸法（約）	リクライニングしていないとき	幅830×奥行1180×高さ1170mm
	リクライニングしたとき	幅830×奥行1540×高さ1020mm
質量		約78kg
張地		PVCレザー
製造元	株式会社フジ医療器　大阪府大阪市中央区農人橋1丁目1-22	
製造販売元	株式会社フジ医療器　大阪府南河内郡太子町太子2372-95	
原産国	日本製	

愛情点検

愛情点検
長年ご使用の場合は点検をぜひ！

このような症状はありませんか。
- こげくさい臭いがする。
- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- その他の異常がある。

故障や事故防止のため本体の電源スイッチを「切」にし、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いたうえで、ご購入先または、お客様相談窓口までお問い合せください。

しばらく使用しなかった場合、もう一度取扱説明書をよく読み、機器が正常に動作することを確認してから使用する。　事故やけがのおそれがあります。

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まず**ご購入先**にご連絡ください

●保証書（別に同梱してあります。）
お買い上げの際に保証書をご購入先からお受け取りになり「お買い上げ日」・「ご購入先」欄の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間　**同梱の保証書に記載**

●補修用性能部品の保有期間
当社はこのマッサージ機の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

33ページに従ってしらべていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いたうえで、ご購入先にご連絡ください。

●保証期間中に修理を依頼される場合
ご購入先にご相談ください。保証書の記載内容に従って修理いたします。
(なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。)

●保証期間を過ぎて修理を依頼される場合
まずご購入先にご相談ください。
修理により、製品機能が維持できる場合には、ご要望に従い有料にて修理いたします。

●その他ご不明な場合
アフターサービスに関するご相談、ならびにご不明な点は、ご購入先または、お客様相談窓口までお問い合わせください。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料　診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代　修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料　製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

お客様相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取り扱いなどのご相談は、まずご購入先へご連絡ください。

0120 フリーダイヤル
0120-027612

受付：月曜～金曜　午前9時～午後5時30分
※但し、土日祝日、年末年始は休ませていただきます。

FAX・E-mailでの受付も行っております。

FAX番号　06-6644-9103

E-mail　フジ医療器ホームページのお問い合わせフォームにて受け付けております。
フジ医療器ホームページ　http://www.fujiiryoki.co.jp

FAX・E-mailでの受付は24時間行っておりますが、お客様へのご連絡はフリーダイヤルの受付時間となります。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて
株式会社フジ医療器は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

〒540-0011 大阪市中央区農人橋1丁目1-22 大江ビル14階

お客様へ…お買い上げ日・ご購入先を記入されると便利です。

お買い上げ日	年　　月　　日
ご 購 入 先	TEL

2010年4月6日（新様式第1版）

100410